

「石灰沈着性腱板炎で悩んでいらっしゃる方へ」 女性 40代

1年前、右肩に強い痛みを感じて整形外科で診察を受けたところ

「石灰沈着性腱板炎」と診断されました。

ステロイド注射とリハビリによる温存療法を続けましたが、良くなりず痛みは増すばかりでした。

何件かの整形外科を訪ねて診察を受けましたが、決まって言われる言葉が

「このままでは完治しない。内視鏡手術をしましょう」でした。

しかし内視鏡手術を受けた後の、数か月に及ぶリハビリと不自由な生活を考えるとなかなか決心がつきませんでした。

迷っているうちに肩の痛みのため動かせる範囲がどんどん狭くなっていき日常生活にかなり支障をきたしてしまいました。

そんな中「ぱくペインクリニック」で「超音波ガイド下による穿刺吸引」という治療をされている事を偶然インターネットで知りました。

通っていた整形外科の先生から「早く、手術する日を決めてください」と言われていたので、わらをも掴む思いで予約の電話を入れました。

ぱく先生は、親身に話を聞いてくださり「やってみましょう」とおっしゃってくださいました。

1回の治療を受けた後は、3日ほど腕を上げた時に痛みがありましたが1週間ほどで良くなりました。驚く事に、1年間も上がらなかった腕が痛みもなく上がるようになったのです。

2週間後、2回目の治療を受けた後は痛みもほとんど感じなくなり、日常生活も普通に送れるようになりました。

事務的な診察をする先生が多い中、ぱく先生はとても暖かい人情味あふれる方です。

スタッフの方もとても感じの良い方ばかりです。

「石灰沈着性腱板炎」がなかなか良ならず悩んでおられる方には是非、ぱく先生の診察を受ける事をおすすめします。

ぱく先生、本当にありがとうございました。先生に出会ってなかったら

今頃、手術を受けて腕を固定されて不自由な生活と痛いリハビリを強いられていたと思います。

この感想文を掲載してもらって、同じ症状で苦しむ人の助けになればと思います。